

令和 2 年度
認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業
実施報告書

令和 3 年 3 月
日野市健康福祉部高齢福祉課

【目次】

1.事業の概要

1. 事業の概要.....	1
（1）認知症高齢者の現状と令和 2 年度の基本方針.....	2
（2）事業概要.....	4
（3）運営体制.....	5
2. 取組みの内容.....	7
（1）認知症対策推進会議の開催.....	8
（2）認知症初期集中支援事業.....	9
（3）「認知症を知る月間」の開催.....	11
（4）専門部会の取組み.....	14
1）家族支援部会.....	14
2）市民啓発部会.....	16
3）多職種連携推進部会.....	18
（5）次年度の事業の方向性.....	20
【資料編】.....	23
（1）多職種連携推進部会.....	24
（2）認知症家族介護者交流会実施実績.....	26
（3）日野市の虐待受付状況.....	27
（4）日野市の徘徊対応状況.....	29
（5）認知症支援・虐待防止事業の取組み状況.....	31
（6）認知症を知る月間の広報物.....	32
（7）認知症サポーター養成講座 開催実績.....	34
（8）認知症サポーターステップアップ講座 開催実績.....	37
（9）その他.....	38

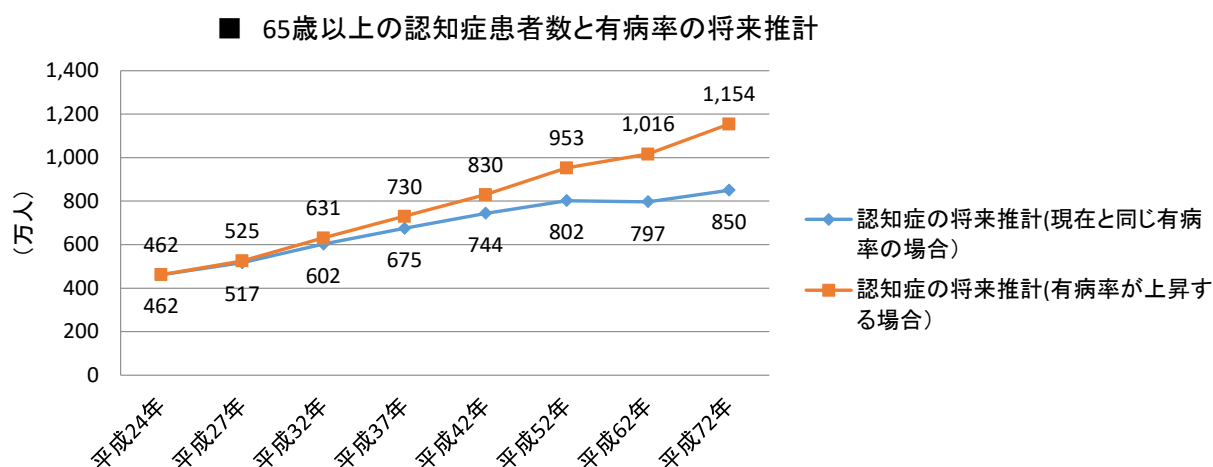
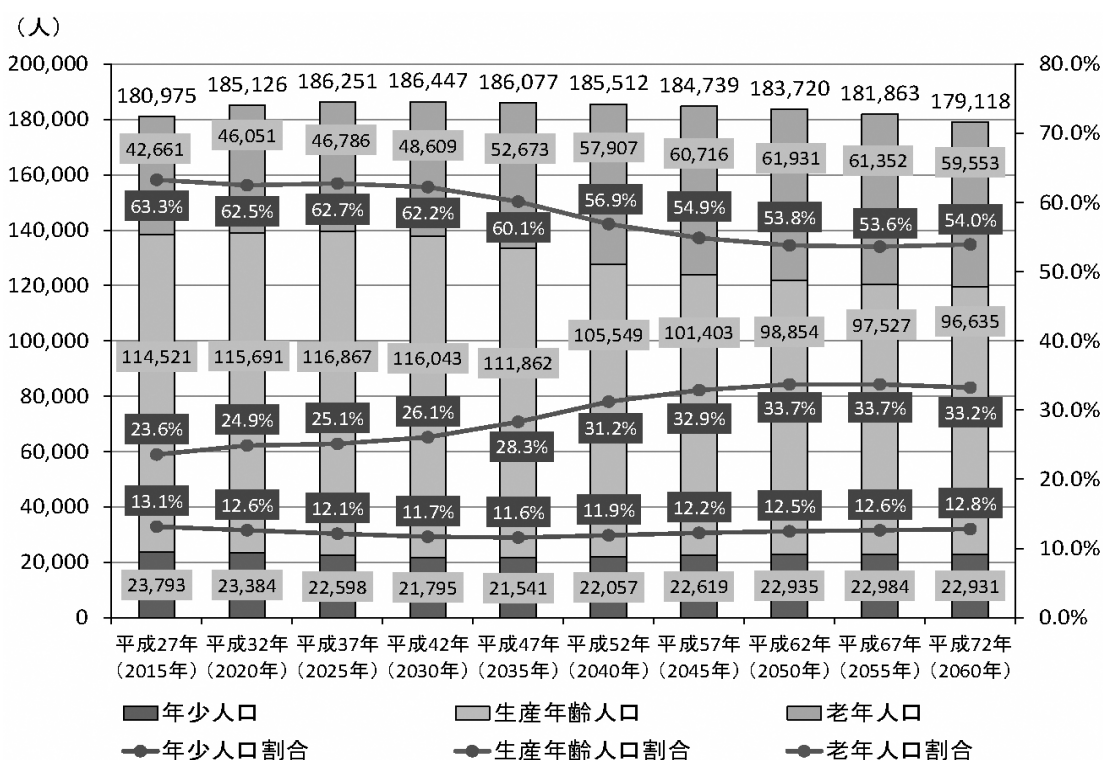
1. 事業の概要

(1) 認知症高齢者の現状と令和 2 年度の基本方針

1) 認知症高齢者の現状

日野市の人口構成を見ると、高齢化率は上昇傾向です。平成 37 年（2025 年）で高齢化率は 25.1%、平成 52 年（2040 年）で 31.2%に達することが予測されます。

認知症高齢者数については、国における認知症患者の将来推計によれば、平成 24 年の 462 万人から、平成 37 年には現在と有病率が同じ場合で 675 万人、有病率も上昇する場合では 730 万人まで増加することが見込まれています。そのため、日野市でも認知症の患者数は今後も増加していくことが見込まれます。

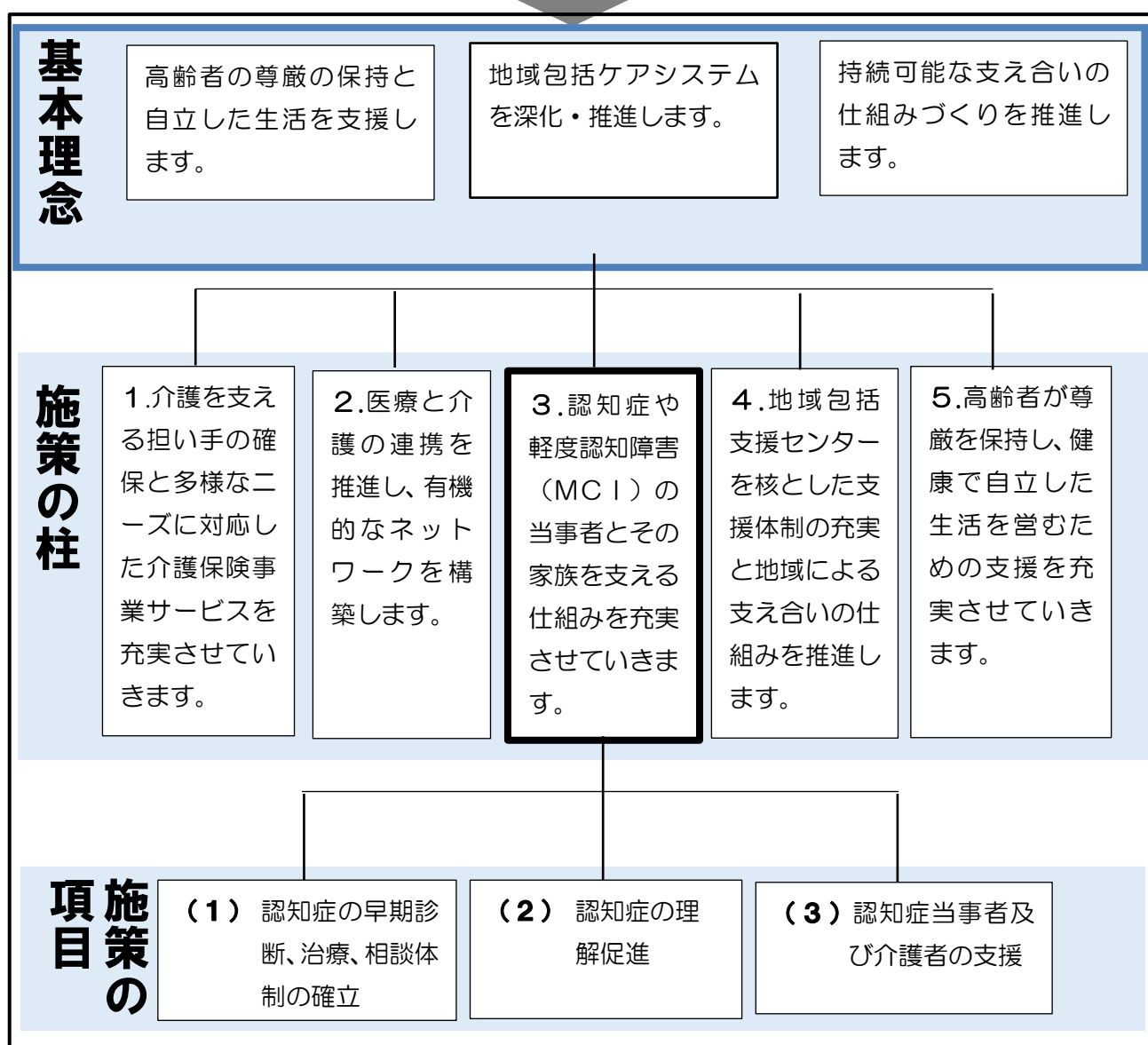


2) 令和2年度の基本方針

日野市では、高齢者福祉・保健政策・高齢者の住宅政策の総合的な方針を、「第3期日野市高齢者福祉総合計画」として策定しています。認知症施策については、計画において、5つの施策の柱のうち1つに「認知症や軽度認知症（MCI）の当事者とその家族を支えるための仕組みを充実させていきます。」と定めており、認知症の相談、早期診断等総合的な支援体制の構築を図るとともに、地域全体で本人や家族介護者を支えていく体制の構築を目指しています。

目指すべき姿： いつまでも安心して暮らせるまち 日野

（第3期日野市高齢者福祉総合計画）（平成30年度～令和2年度）



(2) 事業概要

本事業は、国の示す「認知症施策推進大綱」¹の5つの施策の柱²ならびに前述の第3期日野市高齢者福祉総合計画をふまえ、市民による支援の輪を広げるための取組み、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり、認知症の人やその家族の視点やニーズを重視した取組みなど、幅広い事業展開をしています。令和2年度は、事業全体の運営方針を以下の6つに定めています。

【運営方針】

①「3つの柱」による取組みの推進

「家族支援」「市民啓発」「多職種連携」の3つの柱により取組を進めます。

②「諸力融合」による地域づくり

本人・家族、地域、関係機関と連携を図り、協働で認知症の方にやさしい地域づくりを進めます。※特にチームオレンジ設置に向けた仕組みを整備します。

③関係機関とのネットワーク強化

認知症地域支援推進員、地域連携型認知症疾患医療センター等との連携体制の強化を図ります。初期集中支援チームの積極的な活用を推進します。

④「認知症を知る月間」の開催

令和元年度に引き続き、効率的かつ効果的に認知症を広く啓発するため、「認知症を知る月間」を開催します。

⑤若年性認知症に係るネットワークの構築

東京都多摩若年性認知症総合支援センターとSDGsの視点を生かした諸力融合の取組みを推進します。

⑥市内認知症カフェの交流

市内で開催している認知症カフェ同士の交流と医療連携型認知症カフェとの連携体制の構築を図ります。

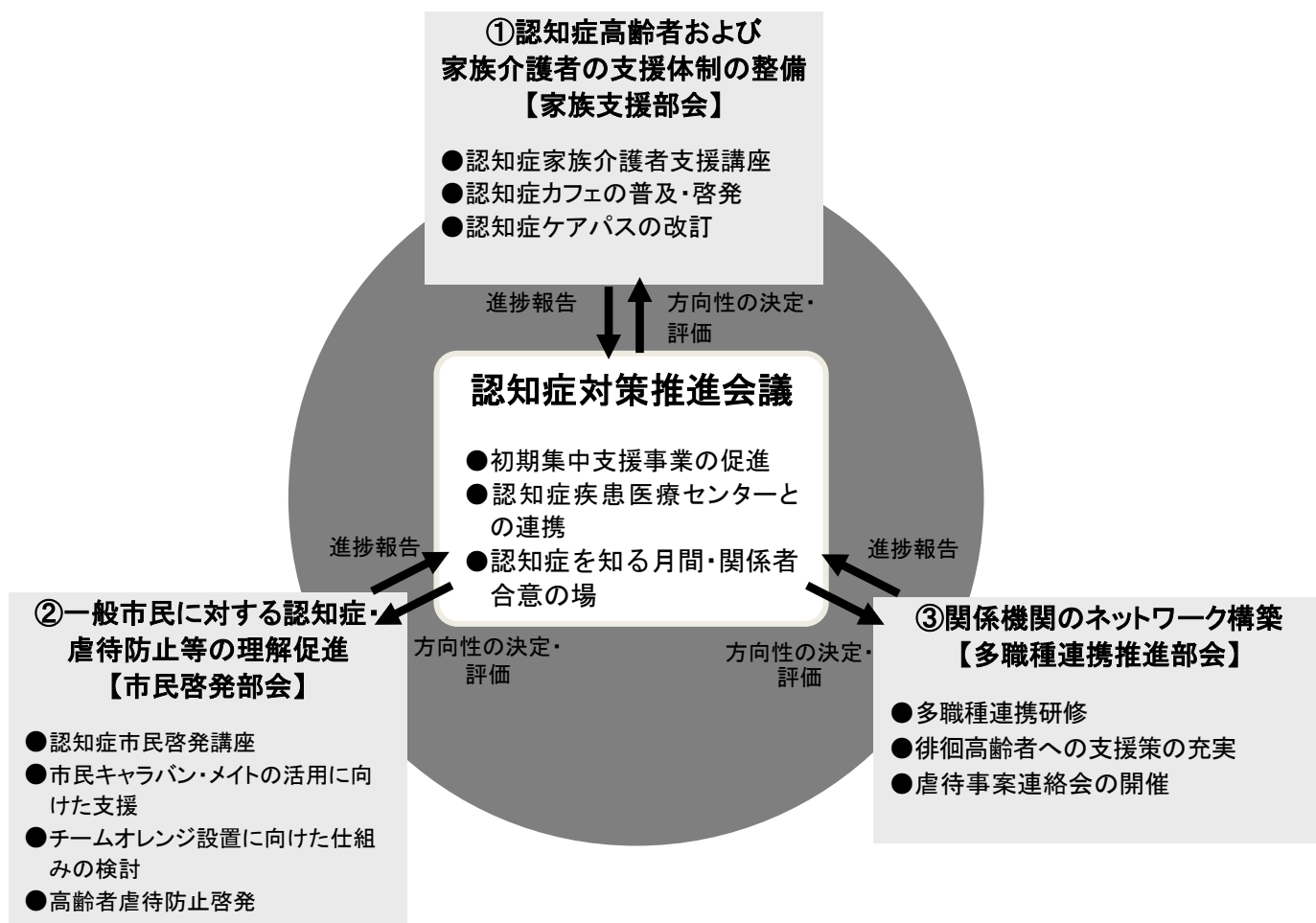
¹ 「認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望と尊厳を持って日常生活を過ごせる社会の実現を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進していく」（認知症施策推進関係閣僚会議「認知症施策推進大綱」厚生労働省, 2019.）

² 「1.普及啓発・本人発信支援」「2.予防」「3.医療・ケア・介護サービス・介護者への支援」「4.日賞バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援」「5.研究開発・産業促進・国際展開」

(3) 運営体制

「家族支援」「市民啓発」「多職種連携」の3つの分野ごとに専門部会を設置し、家族支援部会では「認知症高齢者および家族介護者の支援体制の整備」、市民啓発部会では「一般市民に対する認知症・虐待防止等の理解促進」、多職種連携推進部会では、「関係機関のネットワーク構築」を取組みの柱とし、地域包括支援センター（認知症地域支援推進員）および地域連携型認知症疾患医療センター多摩平の森の病院と連携して、取組みを進めています。

(運営体制のイメージ図)



2. 取組みの内容

(1) 認知症対策推進会議の開催

1) 開催目的

本会議は、第3期日野市高齢者福祉総合計画に位置付けされている、認知症疾患医療センターを核とした認知症施策の検討及び医療サービスの提供、認知症初期集中支援チームによる早期発見・治療の推進、認知症地域支援推進員等による地域事情に即した認知症施策・事業・地域づくりの展開等の認知症施策を計画的かつ効果的に推進するための取組について、検討・企画・評価することを目的とした会議体です。

2) 開催概要・成果

本会議は、日野市高齢福祉課及び市内9か所の地域包括支援センターと認知症疾患医療センターである「多摩平の森の病院」に各1名ずつ配置している認知症地域支援推進員を基本的な構成員とし、2か月に1回開催しています。

令和2年度は、政府が発した「認知症施策推進大綱」に沿った理解を進めるとともに「認知症を知る月間」の開催等を中心に関係機関と連携し企画検討を図りました。また認知症初期集中支援チーム検討委員会では、事例を通し初期の段階の認知症の人に対する包括的・集中的支援の介入の重要性について共通理解を図りました。

3) 認知症対策推進会議開催実績

	開催日時等	主な議題
第1回	感染症の影響により紙面にて開催	令和2年度事業運営体制について 認知症を知る月間に係る意見交換
第2回	令和2年6月16日(火)	各部会の運営方針について発表 認知症を知る月間に係る方向性の確認
第3回	令和2年8月25日(火)	認知症を知る月間の進捗について 東京都多摩若年性認知症総合支援センターとの連携について
第4回	令和2年10月20日(火)	「認知症を知る月間」の振り返り 令和3年度「認知症を知る月間」企画について
第5回	令和2年12月15日(火)	令和3年度「認知症を知る月間」企画について 認知症初期集中支援チーム検討委員会
第6回	令和3年2月16日(火)	令和2年度事業評価 令和3年度事業運営体制について

(2) 認知症初期集中支援事業

1) 実施目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とした事業です。

2) 実施概要

初期集中支援チームは、平成29年7月に開院した多摩平の森の病院（地域連携型認知症疾患医療センター）に設置し、令和2年度より七生病院が追加され2チームとなりました。チームは、医師、認知症看護認定看護師、准看護師、介護福祉士（精神保健福祉士）による専門チームで組織されています。

認知症が疑われる方で、治療につながりにくい方、医療サービス・介護サービスを受けていない方、治療を中断してしまった方などを対象に初期集中支援チームが集中的に訪問支援等を行い、早期に医療や介護のサービスにつなげ、対象となる方が地域で安心して暮らし続けられるように支援を行いました。

3) 事業実績

認知症初期集中支援チーム実績（令和2年4月～令和3年3月）						
	相談件数	多摩平の森の病院	七生病院	訪問件数	多摩平の森の病院	七生病院
実数 （初回相談件数）	12件	8件	4件	18件	14件	4件
延数	19件	12件	7件	95件	80件	15件
主な相談内容 ・未受診、受療拒否など受診にかかわる相談・家族の介護負担等ケアに関わる相談・介護保険サービス拒否他						
終結の概要	支援対象者18件（令和元年度より継続含）のうち12件が終了。 6件については、次年度へ継続ケースとなっている。					

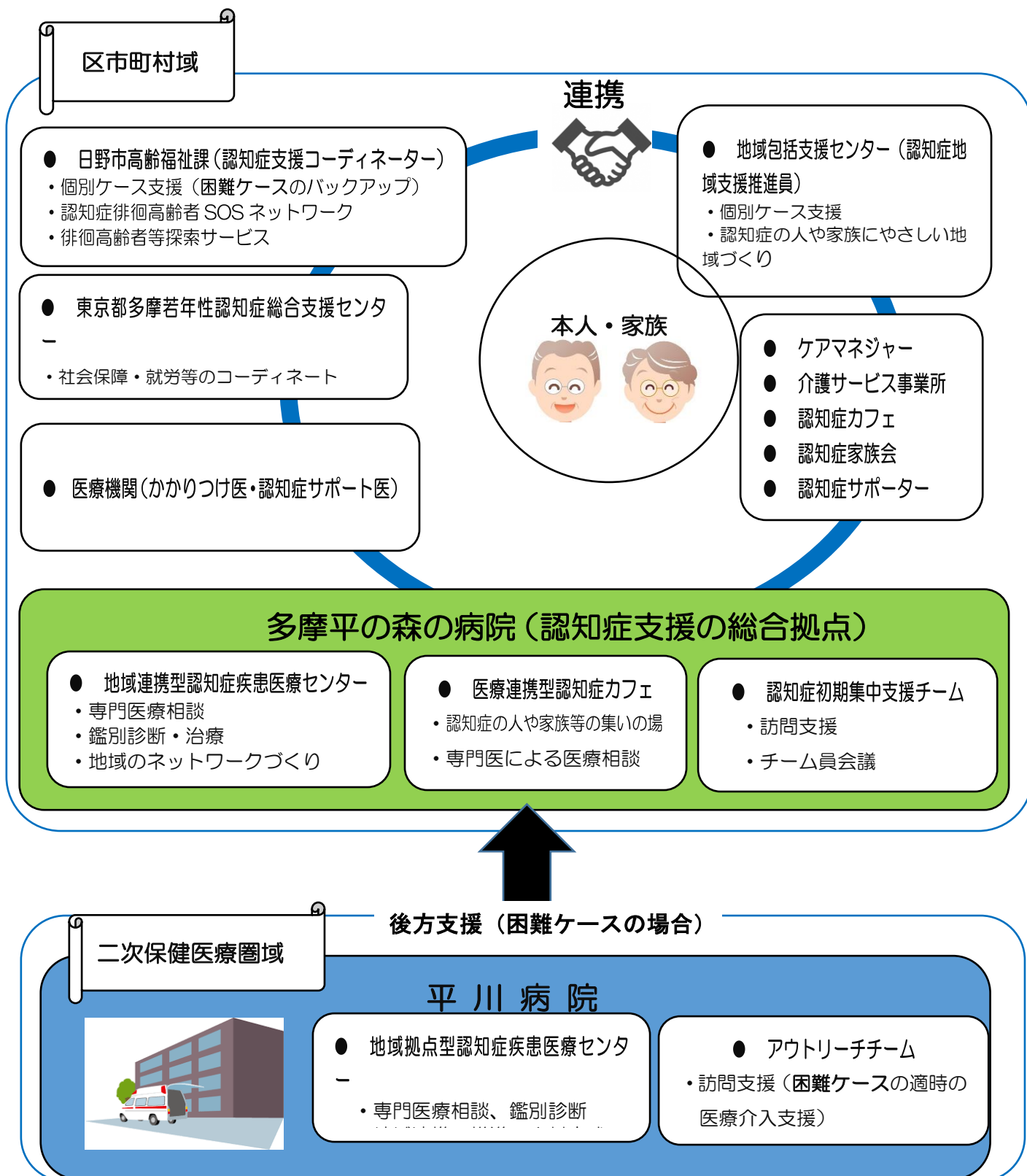
4) 事業評価

今年度相談を受けた支援対象者18人（令和元年度より継続含）に対し、延べ95回の訪問を行い、そのうち13件は、医療、介護サービス等につなげることができました。

新型コロナウイルス感染症予防のための緊急事態宣言により、訪問ができない期間があったため、その期間は電話連絡により状況確認をしました。

認知症対策推進会議にて認知症初期集中支援チームの活動報告を行い、七生病院の事例を用いて、認知症地域支援推進員と今後の支援計画を検討しました。

◆認知症支援体制



出典：第3期日野市高齢者福祉総合計画

(3) 「認知症を知る月間」の開催

1) 開催目的

平成 26 年度から「認知症を知る月間」を開催し、今年度で 7 回目となります。

第 3 期日野市高齢者福祉総合計画で重要なポイントの一つと整理されている「認知症の理解促進と地域全体で本人及び家族介護者を支える体制の充実」のために、認知症を知る月間で開催される様々なイベントを通して、認知症が決して他人事ではないということを広く市民に啓発し、認知症に対する知識と理解を深め、市民が認知症の人、市の認知症への取組みに関わるきっかけをつくることを目的としています。

また、認知症を知る月間の開催にあたり、4 つの要点を設定するとともに、主体的に「輪を創る」という目的を市民に浸透させていくために令和元年度に引き続き「わたしたちの行動で地域の輪を創ろう！」をサブタイトルとして掲げています。

要点

- ①本人、家族からのメッセージ（思い）を直接市民へ届け、認知症を身近に感じてもらう。
- ②本人、家族、専門職、市民の視点を取り入れ、諸力融合で認知症の啓発に取り組む。
- ③無関心層を含めた市民自ら認知症に関わるきっかけをつくる。
- ④認知症を知る月間以外の認知症に関する取組との波及・相乗効果を高める。

2) 開催内容・成果と課題

令和2年度は、感染症流行の影響により例年のような市民の方に集まっていただくイベントの実施は断念しましたが、感染防止対策のもと、関係者による「認知症を知る座談会」³を開催し、座談会の様子を広報ひの、日野市ホームページ、パネル展示にて広く市民に啓発しました。また、認知症支援及び高齢者虐待防止啓発用リーフレットを作成し、高齢福祉課や地域包括支援センター等の窓口等にて配布し、啓発を行いました。

i) 「認知症を知る座談会」

収録日時	令和2年7月9日（木）15:00～16:30	新オレンジプラン
収録場所	日野社会教育センター301	I-②
出演者	出演者：家族介護者 堀越 様 多摩平の森の病院 認知症認定看護師 林 様 地域包括支援センターすずらん 相馬 様 進行：高齢福祉課職員	II V

iii) 各種イベント

●認知症についてのパネル展示

開催日時	令和2年9月1日（火）～10月1日（木）		新オレンジプラン
開催場所	イオンモール多摩平の森 3F プティマイン前	主催 日野市高齢福祉課	I-① V
内 容	認知症月間パネル展示 ⁴ ① 認知症を知る月間ポスター ② 座談会 ③ SOS ネットワーク ④ 虐待防止・新型コロナウイルス感染予防対策 ⑤ 地域包括支援センター ⑥ RUN 伴		VII-①

³ 文末図表1参照。

⁴ 文末図表2参照。

●図書館や書店での関連図書を紹介

開催日時	令和2年9月1日（火）～9月30日（水）			新オレンジ プラン
開催場所	【図書館】 日野図書館 百草図書館 高幡図書館 【書店】 啓文堂書店 高幡店 未来屋書店 多摩平の森店	主催	日野市高齢福祉課	Iー① V
内 容	・図書館内において認知症コーナーを設け、認知症関連書籍を啓発 ・書店内において認知症月間チラシを配布			

(4) 専門部会の取組み

1) 家族支援部会

令和元年度からの課題

- ・ コロナ禍における家族介護者交流会およびオレンジ広場の開催の工夫。
- ・ 当事者や家族の声を直接市民に届けられる機会を、イベント等に組み込むよう検討する。
- ・ 医療連携型認知症カフェとオレンジ広場の連携方法等を検討する。
- ・ 認知症ケアパスがより効果的に機能するツールとなるよう改訂する

令和2年度 取組み内容

令和2年度 取組みの柱

認知症高齢者および家族介護者の支援体制の整備

①認知症家族介護者支援講座の実施・協力

〔意図〕

- ・ 精神的な介護負担の軽減を図り、安心して介護を継続できている。

〔成果〕

- ・ 新型コロナウイルス感染予防のため、緊急事態宣言時は一時中止となった。
- ・ 実施時は感染対策を行い、規模を縮小して実施した。

②オレンジ広場の普及・啓発

〔意図〕

- ・ オレンジ広場の基準について検討する。
- ・ 医療連携型認知症カフェとオレンジ広場の連携方法等を検討する。

〔成果〕

- ・ オレンジ広場の基準作成したが、基準適応についてはコロナ禍のため保留中。

③認知症ケアパスの改訂

〔意図〕

- ・ 誰でも気軽に手に取れ、理解できるケアパスになるよう見直しを行う

〔成果〕

- ・ 令和2年度版認知症ケアパスを作成した。

専門部会の開催実績		
回	開催日	主な議題
1	令和2年4月7日	R2年度の実施事項の確認・振り返りシートの作成
2	令和2年6月12日	認知症を知る月間に関する検討、オレンジ広場交流会について
3	令和2年8月27日	オレンジ広場の基準検討、認知症ケアパス内容の検討
4	令和2年10月6日	オレンジ広場の基準検討、認知症ケアパス内容の検討
5	令和2年11月13日	認知症ケアパスの検討、本人ミーティングについて
6	令和2年12月22日	認知症ケアパスの検討、家族会について、本人ミーティングについて
7	令和3年1月26日	認知症ケアパスの検討、本人ミーティングについて、R3月間について

令和3年度に向けた課題

① 認知症家族介護者支援講座の実施・協力

- ・ 家族介護者交流会の開催案内一覧を作成し、参加者の利便性をはかる

② オレンジ広場の普及・啓発

- ・ オンライン開催に向け検討する。
- ・ オレンジ広場の基準や医療連携型オレンジ広場「森の茶屋」とオレンジ広場の連携方法を検討する。
- ・ オレンジ広場の基準(保留中)

③ 認知症ケアパスの改訂

- ・ 認知症ケアパスがより効果的に機能するツールとなるよう、改定を行う。

2) 市民啓発部会

令和元年度からの課題

- ① 市内全域の住民がイベントに参加できる仕立てを構築する。(イベント参加者の居住地域を把握し、参加者の少ない地域にアプローチする仕組みの構築)
- ② 全地域包括支援センターの生活圏域で市民キャラバン・メイトの活用を促進する。
- ③ 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座が市民キャラバン・メイトにつながる環境整備。
市民キャラバン・メイト報告会を継続し、市民キャラバン・メイトの主旨を理解してくれる人を発掘する。チームオレンジにつながる仕組みを検討する。

令和2年度 取組み内容

令和2年度 取組みの柱

市民に対する認知症・虐待防止等の理解促進

①認知症市民啓発講座の実施・協力(認知症を知る月間)

〔意図〕 広く市民が、認知症について関心を持て、理解を深めている。

〔成果〕 年度当初は、イオンモールにて市民啓発・家族支援合同講座を開催する予定だったが、コロナウィルス感染症の影響により講座は中止となった。代替として広報ひの、ホームページ、啓発用ポスター・リーフレットを作成・配布したが、アンケート等による開催後の評価が出来なかった。しかしコロナ禍においても各種媒体を使って啓発ができた。

②市民キャラバン・メイトの育成

〔意図〕 市民キャラバン・メイトが認知症サポーター養成講座等に関わっている。

〔成果〕 コロナウィルス感染症の影響により、市民キャラバンメイト連絡会は中止となった。コロナ禍で認知症サポーター養成講座の開催が難しい状況ではあったが、1部圏域の包括ではステップアップ講座に市民キャラバンメイトが参加できた。

③チームオレンジ設置に向けた仕組みの検討

〔意図〕 認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座受講後に地域での活動に興味を持っている。

〔成果〕 コロナウィルス感染症の影響によりオレンジコーディネーター研修は中止となった。

都内及び都外の先進的に取り組みを進める自治体に聞き取り調査を実施し、部会に報告することでチームオレンジの基本について部会内で認識を共有できた。

④高齢者虐待防止啓発

〔意図〕 高齢者虐待の正しい知識を得て、理解を深めている。

〔成果〕 認知症を知る月間の期間中、イオンモール多摩平の森にてパネル展示を実施した。

また、認知症を知る月間にて配布した認知症啓発リーフレットに高齢者虐待防止の内容を盛り込んだ。

専門部会の開催実績		
回	開催日	主な議題
1	令和2年4月7日	スケジュール・取組み内容の確認／「認知症を知る月間」について／市民キャラバン・メイト報告会について
2	令和2年5月28日	「認知症を知る月間」について（家族支援と合同）／市民キャラバン・メイト報告会の中止について
3	令和2年8月27日	「認知症を知る月間」について（家族支援と合同）／職員向け認知症サポーター養成講座について／チームオレンジについて
4	令和2年10月6日	「認知症を知る月間」の振り返り（家族支援と合同）／チームオレンジの設置について
5	令和2年11月25日	令和3年度「認知症を知る月間」について／チームオレンジの設置について／認知症サポーターカードについて
6	令和3年1月19日	令和3年度「認知症を知る月間」について／チームオレンジの設置について／認知症サポーターカードについて
7	令和3年2月2日	令和3年度「認知症を知る月間」について／チームオレンジの設置について／認知症サポーターカードについて

令和3年度に向けた課題

- ① 認知症を知る月間において、コロナ禍であっても実行可能で、多くの市民がアクセスすることのできるイベントの仕立てを検討する。
- ② 全地域包括支援センターの生活圏域で市民キャラバンメイトの活用を促進する。
- ③ チームオレンジの設置に向けてチームの具体的な仕組みやステップアップ研修の内容を検討する。

3) 多職種連携推進部会

令和元年度からの課題

- ・多職種連携研修について、これまで交通機関、銀行、小売店などとの連携を深める目的で研修を開催。今後は改めて高齢者虐待に関する理解を深め、対応力を向上するためにケアマネジャー、サービス事業所職員などを対象に高齢者虐待対応研修の開催を検討する。
- ・SOS ネットワーク事業について、市民のメール登録者をより増やしていく必要がある。そのため、今後の周知方法の検討を行う。

令和2年度 取組み内容

令和2年度 取組みの柱 関係機関のネットワーク構築

①多職種連携研修

〔意図〕

- ・顔の見える関係ができています ・対応力が向上している

〔成果〕

- ・ズームでの虐待研修だったので、いつもより多くのケアマネジャーに参加してもらうことが出来た。ズームで包括がファシリでグループワークを行ったことで、高齢者虐待についての困りごとなど参加したケアマネジャーと共有できたと思う。
- ・研修後のアンケートでは、殆どの方から理解できた早期発見が重要と回答いただいた。

②徘徊高齢者への支援策の充実

〔意図〕

- ・SOS ネットワークの周知ができています ・支援策の利用促進ができています

〔成果〕

- ・SOS ネットワーク事業を認知症サポーター養成講座、認知症を知る月間ではパネル展示やケアマネ交流会などで周知を実施。市民のメール登録者は微増にとどまった。利用登録者は、高齢者の ADL の変化により廃止する方もいるが、全体の登録者は増加している。

③虐待事案連絡会の開催

〔意図〕

- ・高齢者虐待における関係機関ネットワークの強化を図る
- ・関係者の虐待対応スキルの向上を図る

〔成果〕

- ・参加者からのアンケートでは好意的な感想が多くあった。立ち入り調査の事例で、警察との立ち入り調査の事例の場合は事件性があれば刑事の同行も可能であることがわかった。

専門部会の開催実績		
回	開催日	主な議題
1	令和2年4月9日	評価シート作成/虐待事案連絡会、多職種連携研修について
2	令和2年6月12日	警察との虐待事案連絡会/SOS ネットワーク事業について
3	令和2年7月28日	警察との虐待事案連絡会/SOS ネットワーク事業について
4	令和2年9月14日	警察との虐待事案連絡会：アンケート集計・振り返り/多職種研修について
5	令和2年10月26日	多職種連携研修/認知症を知る月間とのかかわりについて
6	令和2年12月14日	多職種研修/SOS ネットワーク/SDGsに即した若年性認知症施策について
7	令和3年1月27日	多職種研修振り返り/次年度の目標について
8	令和3年2月1日	次年度の多職種研修について/次年度の研修打ち合わせ

令和3年度に向けた課題

- ① 多職種連携研修は、平成30年度に小売店で3社の参加で、物足りないものとなっているので、次にも小売店で開催してもいいのではと思われた。今後は、権利擁護や法律関係者を招き学びや警察・消防との連携について働きかけていく。
- ② 研修のアンケートでもあった虐待の早期発見の仕組み作りを目指し、市内事業所全体で共有するたたき台を作っていく。

(5) 次年度の事業の方向性

令和2年度の認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業について、「認知症になっても、本人とその家族が必要な支援を受け、その人らしく生きられる」という目指す姿の実現に向け、3つの専門部会ごとに方針を定め、全部で10の取組みを進めてきました。

令和3年度の方向性として、第4期日野市高齢者福祉総合計画（令和3年～令和5年）に基づき、認知症支援の体制に加えて、MCI（軽度認知障害）の当事者とその家族に対する支援を更に深化させた内容で各取組に取り入れることとしています。

■次年度の方向性

認知症を知る月間対象取組み		
推進会議／部会	取組み	取組みの方向性
推進会議	1) 認知症関連事業全体の運営方針の決定と進捗管理、評価の共有 2) 認知症検診事業、初期集中支援事業の活用促進及び円滑な事業実施 3) 認知症を知る月間実施のための関係者の合意形成	・「認知症を知る月間」に関わる関係機関の合意形成が得られ、諸力融合の力で認知症の啓発に取り組む。 ・認知症検診事業の円滑な事業の実施のため、医療機関と市、地域包括支援センターとの連携を図る。 ・コロナ禍における外出自粛による認知症高齢者のフレイル予防の対策を検討する。 ・本人ミーティングの方向性を検討する。
家族支援部会	1) 認知症家族介護者支援講座の実施・協力（認知症を知る月間） 2) オレンジ広場普及・啓発 3) 認知症ケアパスの改訂	・オレンジ広場等オンライン開催に向け検討する。 ・家族介護者交流会の開催案内一覧を作成し、参加者の利便性を図る。 ・オレンジ広場の基準や医療連携型認知症カフェ「森の茶屋」とオレンジ広場の連携方法等を検討する。 ・認知症ケアパスがより効果的に機能するツールとなるよう、改訂を行う。
市民啓発部会	1) 認知症市民啓発講座の実施・協力（認知症を知る月間） 2) 市民キャラバン・メイトの活用に向けた支援 3) チームオレンジ設置に向けた仕組みの検討 4) 高齢者虐待防止啓発	・認知症を知る月間において、コロナ禍であっても実行可能で、多くの市民が参加できるイベントの仕立てを検討する。 ・全地域包括支援センターの生活圏域で市民キャラバンメイトの活用を促進する。 ・チームオレンジの設置に向けてチームの具体的な仕組みやステップアップ研修の内容を検討する。
多職種連携推進部会	1) 多職種連携研修 2) 虐待対応にかかわる機関連携の推進 3) 職域サポーター養成に向けた検討	・認知症および高齢者虐待に関する理解を深め、対応力を向上するため、多職種連携研修、高齢者虐待対応研修の開催を検討する。 ・職域サポーターの養成に向け、関係部署と相談しながら企業への働きかけを計画する。

■次年度の運営体制

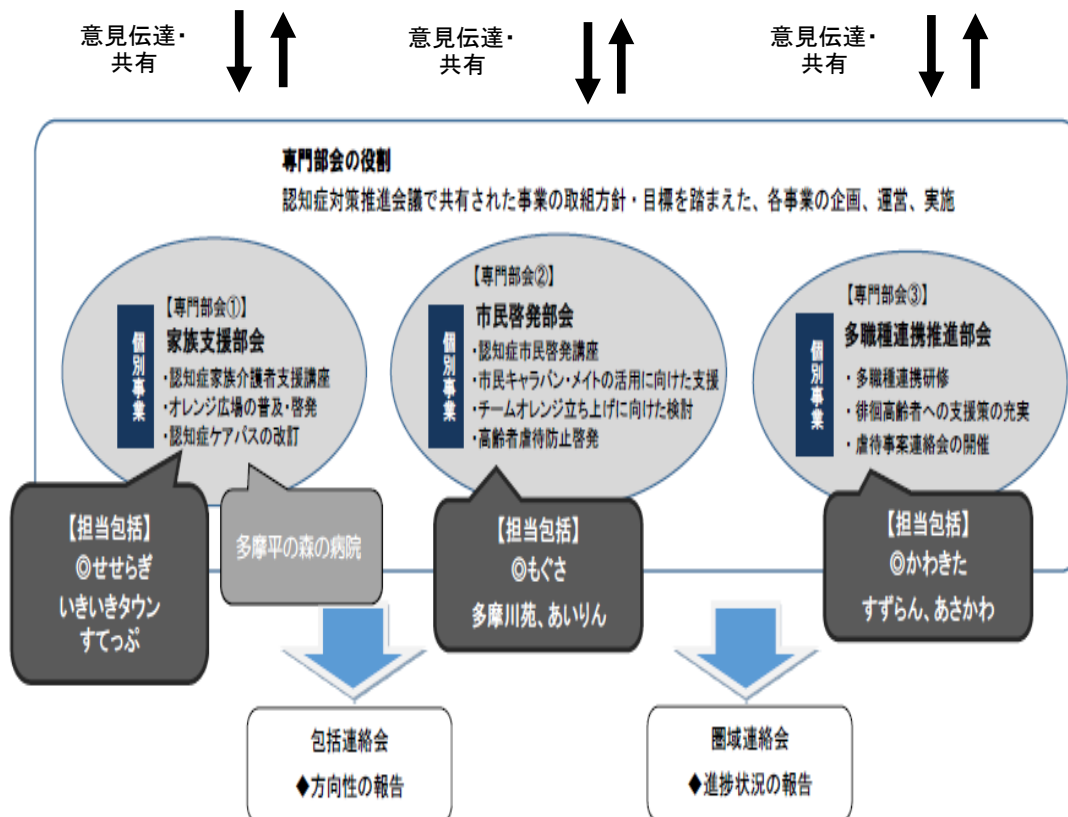
(1) 認知症対策推進会議＋部会制

認知症対策推進会議は、日野市の認知症施策を推進するための協議検討の場です。年6回程度の開催のうち、年2回を「認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業」の方向性の決定、評価にあてます。

(2) 構成員：各包括の認知症地域支援推進員、地域連携型認知症疾患医療センター 多摩平の病院専従相談員林看護師

認知症対策推進会議の役割

- ・事業全体の運営方針、進捗管理、評価の共有、新規事業の企画、運営準備
- ・年1回を認知症初期集中支援チームとも連携を兼ねる会議体とする。
- ・認知症を知る月間・関係者合意の場
- ・本人ミーティング実施に向け、進捗状況の報告・確認



【資料編】

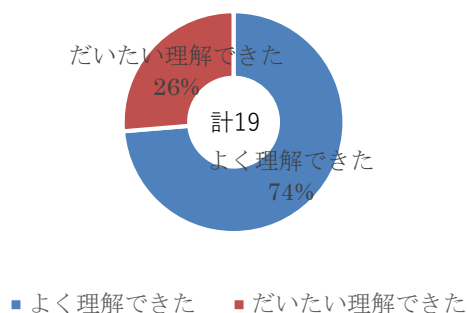
(1) 多職種連携推進部会

会 議	多職種連携研修「高齢者虐待の対応について」
日 時	令和3年1月15日(金)
場 所	505 会議室および Zoom
人 数	57 名

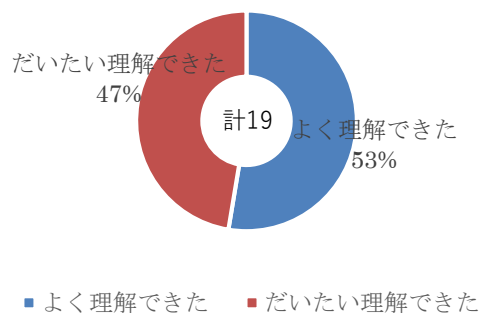
○アンケート

・配布 57/回収 19 (回答率 33.3%)

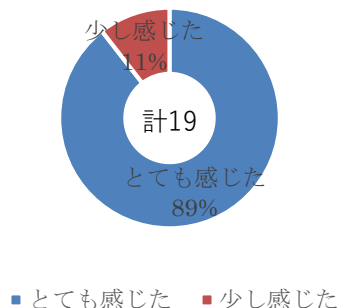
1. 高齢者虐待に関する市内の現状を理解できましたか



2. 高齢者虐待の対応の流れを理解できましたか



3. 高齢者虐待について早期発見の必要性を感じましたか



会 議	日野警察署との高齢者虐待に関する連絡会
日 時	令和 3 年 8 月 20 日（木）
場 所	福祉支援センター 第一会議室
人 数	24 名（高齢福祉課 5 名、包括 18 名、日野警察 1 名）

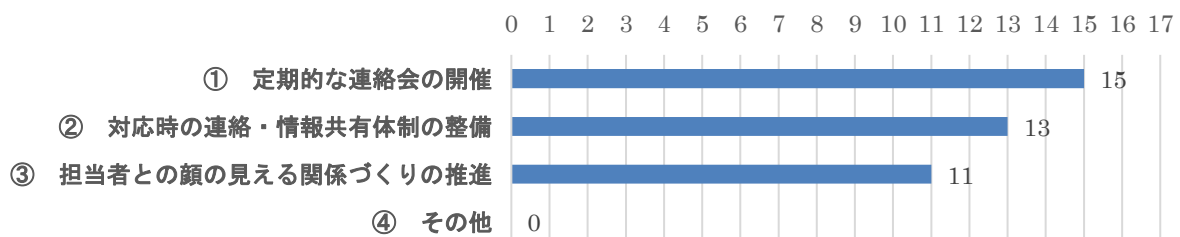
○アンケート

・配布 18/回収 17（回答率 94.4%）

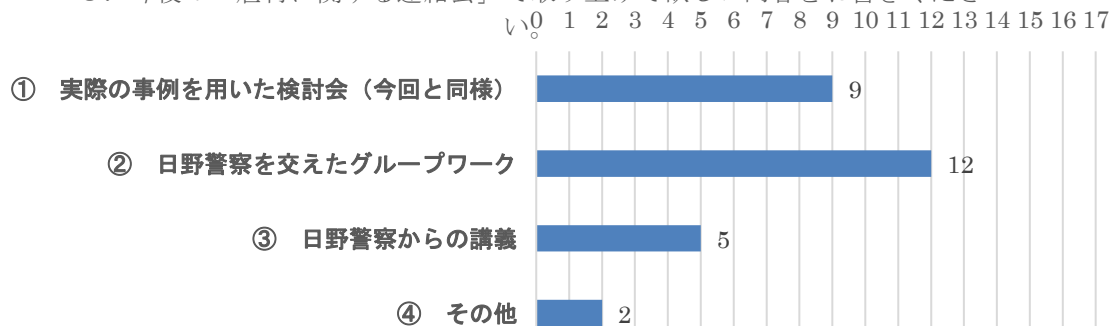
1. 「虐待に関する連絡会」を通して、警察と連携がしやすくなったと思いますか。



2. 今後さらに警察との連携を深めるために何が必要だと感じますか。



3. 今後の「虐待に関する連絡会」で取り上げて欲しい内容をお書きください



(2) 認知症家族介護者交流会実施実績

	開催日	参加人数	参加人数 (内訳) 家族→家 オブザーバー→オ	内 容
【たかはた圏域】 (4回) ※5月、1月は新型コロナの影響で開催中止				
1	7/15 (水)	7	家: 5名 オ: 2名	懇談会
2	9/16 (水)	12	家: 9名 オ: 3名	懇談会
3	11/11 (水)	13	家: 7名 オ: 4名	懇談会
4	3/31 (水)	12	家: 9名 オ: 3名	懇談会
【ひの圏域】 (5回) ※4月、2月は新型コロナの影響で開催中止				
1	6/8 (木)	0	0	アンケート調査を実施
2	7/16 (木)	5	家: 1名 オ: 4名	懇談会
3	8/27 (木)	5	家: 0名 オ: 5名	懇談会
4	10/22 (木)	6	家: 1名 オ: 5名	懇談会
5	12/17 (木)	10	家: 4名 オ: 6名	懇談会
【とよだ圏域】 (8回) ※4月から6月は新型コロナの影響で開催中止				
1	7/10 (金)	3	家: 1名 オ: 2名	懇談会
2	9/11 (金)	5	家: 3名 オ: 2名	懇談会
3	10/9 (金)	2	家: 1名 オ: 1名	懇談会
4	11/13 (金)	8	家: 6名 オ: 2名	懇談会
5	12/13 (金)	5	家: 2名 オ: 3名	懇談会
6	1/8 (金)	9	家: 6名 オ: 3名	懇談会
7	2/12 (金)	7	家: 5名 オ: 2名	懇談会
8	3/12 (金)	7	家: 6名 オ: 1名	懇談会
【ひらやま圏域】 (5回) ※4月から6月、12月～3月は新型コロナの影響で開催中止				
1	7/16 (木)	3	家: 1名 オ: 2名	懇談会
2	8/19 (水)	4	家: 3名 オ: 1名	懇談会
3	9/17 (木)	2	家: 1名 オ: 1名	懇談会
4	10/21 (水)	2	家: 1名 オ: 1名	懇談会
5	11/19 (木)	3	家: 2名 オ: 1名	懇談会

(3) 日野市の虐待受付状況

養護者による虐待(単位：件・人)

相談・通報受理件数 (受理件数の内、夫婦件数)		22 年 度	23 年 度	24 年 度	25 年 度	26 年 度	27 年 度	28 年 度	29 年 度	30 年 度	R1 年 度	R2 年 度
		35 (3)	24 (2)	30 (1)	19 (1)	40 (1)	42 (2)	41 (3)	49 (0)	57 (1)	38 (1)	49 (1)
当該年度以前からの継続対応件数							14 (0)	24 (2)	20 (2)	31 (1)	28	30
虐待認定件数		35 (3)	24 (2)	30 (1)	19 (1)	26 (0)	32 (2)	28 (3)	35 (0)	44 (1)	36 (1)	36 (1)
虐待の 種別・ 類型 (重複 有)	身体的虐待	24	18	19	10	17	20	15	20	30	24	21
	介護・世話の放棄、 放任	2	7	6	5	4	5	5	7	3	3	8
	心理的虐待	20	15	8	3	11	13	15	16	25	18	17
	性的虐待									0	0	1
	経済的虐待	8	7	6	7	7	10	5	7	5	5	5
	セルフネグレクト						1	1		2	4	1
高齢者 性別	男 性	8	6	8	2	4	12	9	5	12	13	7
	女 性	30	20	23	18	22	22	22	30	33	24	30
	合 計	38	26	31	20	26	34	31	35	45	37	37
高齢者 の年齢	64歳以下	1	1			1				1	0	0
	65～69歳	5	3	1			2	3	3	8	2	4
	70～74歳	3	5	4	5	3	4	5	5	3	8	5
	75～79歳	12	4	4	5	7	6	4	12	8	10	8
	80～84歳	10	6	12	8	5	13	9	12	11	9	11
	85～89歳	5	4	4	1	6	8	8	2	10	3	4
	90歳以上	2	3	6	1	4	1	2	1	4	5	5
	合 計	38	26	31	20	26	34	31	35	45	37	37
高齢者 から見た養護 者の続 柄 (重複 有)	夫	11	7	5	6	5	7	5	16	12	9	13
	妻	1	3	4		2	1	2	3	2	3	3
	息子	14	7	13	9	10	13	13	9	15	13	16
	娘	9	4	7	3	4	8	11	6	9	4	4
	息子の配偶者(嫁)		1		1					0	0	0
	娘の配偶者(婿 内 縁を含む)	1								0	0	0
	兄弟姉妹	1				1	1		1	0	0	0
	孫	1	2	1		2	1			2	1	0
	その他									4	3	3
	不明(特定できず)	1				2	3			0	0	0
事実確認中										3	2	5

施設従事者による虐待(単位：件・人)

相談・通報受理件数		22 年 度	23 年 度	24 年 度	25 年 度	26 年 度	27 年 度	28 年 度	29 年 度	30 年 度	R1 年 度	R2 年 度
					3	3	4	6	10	3	2	1
虐待認定件数					3	2	2	1	6		0	1
業種別	居宅介護支援事業所											
	訪問介護				1		1	1				
	通所介護						1		1		1	
	特別養護老人ホーム				1	1			4			
	ショートステイ											
	介護老人保険施設					1						
	小規模多機能				1						1	
	グループホーム											1
	特定施設								1			
虐待の種類・類型 (重複有)	身体的虐待				1	1			3			
	介護・世話の放棄、放任								3			
	心理的虐待					2	1		2			1
	性的虐待						1					
	経済的虐待				2			1	1			
事実確認中										3		

（４）日野市の徘徊対応状況

１）年度別

SOS ネットワーク事前登録者数及びメール配信登録者数（推計）

（単位：人）

	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	R1年度末	R2年度末
事前登録者数	81	129	167	195	237	277	202	295	340	350	350
メール配信登録者数（推計）	2,120件	5,850件	5,910件	5,853件	6,836件	7,630件	8,638件	10,624件	1,686件	1770件	1890件

徘徊対応状況

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	
徘徊者数(実人数)	人数	26	35	42	30	24	36	41	49	56	40	20	
	性別	男性	14	16	19	12	15	11	19	20	22	15	11
		女性	12	19	23	18	9	25	22	29	34	25	9
	年齢	～69歳	2	6	1	1	3	2	1	2	4	0	0
		70～74歳	2	4	3	4	1	6	5	5	11	2	2
		75～79歳	9	10	19	10	10	10	8	12	9	11	7
		80～84歳	5	13	11	6	5	12	17	13	13	15	4
		85歳以上	8	2	8	9	5	6	10	17	19	12	7
延べ徘徊発生数	発生件数	31	52	50	41	32	45	49	68	85	56	30	
	警察へ通報	20	38	30	34	26	29	37	51	50	40	19	
	Eメール利用		10	9	16	15	12	18	25	22	23	10	
	防災無線利用	5	1	3	0	1	0	2	2	0	1	0	
発見数	合計	31	52	50	41	32	45	49	68	85	56	25	
	1時間以内	7	19	13	4	8	12	6	19	15	6	2	
	3時間以内	7	13	13	9	3	10	17	19	20	17	10	
	6時間以内	3	8	6	7	7	4	6	17	23	5	6	
	12時間以内	4	3	3	6	6	8	8	4	3	3	2	
	24時間以内	2	2	6	10	2	3	4	4	4	5	0	
	24時間以上	2	2	3	2	1	2	1	1	3	3	2	
	不明	6	5	6	3	5	6	7	4	17	17	3	
発見できていない数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

２）地域包括支援センター別（令和２年度）

（単位：人）

		もぐさ	あさかわ	すてっぷ	あいりん	せせらぎ	多摩川苑	いきいきタウン	すずらん	かわきた	計
徘徊者数(実人数)		3	0	2	0	1	0	1	9	4	20
性別	男性	3	0	1	0	0	0	1	3	3	11
	女性	0	0	1	0	1	0	0	6	1	9
年齢	～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～74歳	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	75～79歳	1	0	1	0	1	0	1	2	1	7
	80～84歳	1	0	0	0	0	0	0	1	2	4
	85歳以上	1	0	1	0	0	0	0	5	0	7
延べ徘徊発生数		8	0	3	0	1	0	2	12	4	30
	警察へ通報	5	0	3	0	1	0	1	6	3	19
	Eメール利用	2	0	1	0	0	0	1	4	2	10
	防災無線利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発見数		3	0	3	0	1	0	2	12	4	25
	1時間以内	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	3時間以内	2	0	1	0	0	0	1	5	1	10
	6時間以内	1	0	1	0	0	0	0	3	1	6
	12時間以内	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	24時間以内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	24時間以上	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	不明	0	0	1	0	0	0	0	2	0	3
発見できていない数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 認知症支援・虐待防止事業の取組み状況

	取組み	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 R1	R2
認知症高齢者支援	①認知症家族介護者交流会（専門相談会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②認知症サポーター養成講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③認知症サポーターステップアップ講座				○	○	○	○	○	○
	④高齢者SOSネットワーク構築に向けた取り組み	○		○	○	○	○	○	○	○
	⑤認知症予防啓発パンフレット	○		○	○	○				
	⑥認知症地域資源マップの作成	○	○	○	○	○	○			
	⑦認知症家族介護者支援講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑧認知症啓発講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑨多職種連携研修 ⁵	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑩関係機関連絡会	○	○							
	⑪認知症高齢者支援・高齢者虐待防止推進会議 ⁶	○	○	○	○				○	○
	⑫認知症対策推進会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑬認知症ケアパスの作成				○	○	○			○
	⑭認知症の早期発見・治療の仕組みづくりの検討				○	○	○	○	○	○
高齢者虐待防止対策	①高齢者虐待防止勉強会			○	○					
	②虐待防止啓発講演会									
	③虐待防止啓発	○	○	○	○		○	○	○	○
	④高齢者虐待に関する啓発パンフレットの作成		○		○				○	○
	⑤日野市高齢者虐待対応・防止マニュアルの作成等	○	○	○	○		○	○	○	○
	⑥日野警察署との虐待事案連絡会							○	○	○

⁵ H25 までは介護サービス従事者研修として実施。

⁶ H27 より認知症対策推進会議に名称・役割とも変更。

（６）認知症を知る月間の広報物

（ポスター）

令和元年度日野市認知症高齢者支援
（認知症予防助成事業）実施

認知症を 知る月間 9月

わたしたちの行動で地域の輪を創ろう！

56件

令和元(2019)年度
日野市内で発生した
認知症による徘徊(徘徊) (行方不明) 件数

認知症の人や家族にとって一番助けになるのは、周囲の人の理解と、ちょっとした手助け。
「困ったときは、お互い様」な日野のまちを、みんなで作っていきませんか？

あなたの勇気と行動で、
救われる人が
きっといる

認知症データブック

4,660人	492 箇所	1,770人	19 %
市内登録介護者及び要支援者中の 認知症患者数 (平成31年3月時点)	市内見守り 協力事業所 (令和2年3月時点)	SOS ネットワーク 登録者数 (日野市人口の0.9%)	2025年の65歳以上 高齢者における 認知症患者者の割合予測

2025年には、65歳以上の約5人に1人が認知症になると言われています。
他人事ではない時代が、やってきます。

(リーフレット 表・裏)

リーフレット表裏面

日常で、近所で、こんなシーンありませんか!?

「それは、みんな「虐待」です。」
本人にとって不適切な介護は、虐待に該当する場合があります。
そして、それらは「そんなつもりじゃなかった…」こともしばしば。
早めに相談することで、解決できるケースもたくさんあります。

お近くの「地域包括支援センター」へ相談してみましょう!

施設名	電話	住所
もぐさ	042-599-0536	日野・蒲田・船橋保11-6丁目を除く1・3区2丁目・3区1289-1294番地
あさかわ	042-593-1019	大塚・三沢11289-1294番地を除く1・3区1・3・4・5丁目・新井・大平山田(大塚側)・船橋保1丁目・8丁目
すてっぴ	042-582-7367	船橋・大平山田・船橋保・船橋保2・5・6丁目・多摩平1・2丁目・富士町
あひる	042-586-9141	多摩平3丁目・7丁目・日野保4・5丁目・大塚上
せせらぎ	042-589-3560	日野保町・船橋・日野保1・2・3丁目・大塚・新井
多摩の苑	042-582-1707	大塚保・上田・船橋保之内・日野・富士・大塚山田(蒲田側)
いきいきタウン	042-585-7071	船橋保2・3丁目・平山
すずらん	042-599-5531	船橋
かわきた	042-589-1710	船橋保1・3・4丁目・西平山・東平山1丁目

「新しい生活様式」×認知症

新型コロナウイルスの影響により「新しい生活様式」の実践が求められています。
認知症の人は、その状況により困難を覚えてしまいがちで、
周囲の人がより優しく接してくれると、安心して暮らすことができます。

認知症の方には体調不良が
目立ってしまうことがあります。

- ・食欲低下
- ・ぼうっとしている
- ・元気がなくなる

これらの症状に注意しましょう

令和2年度日野市認知症を知る月間
主催：日野市高齢者政策課
後援：日野市医師会、日野市歯科協会、日野市薬剤師会
協力：市内の認知症支援センター、多摩中央病院

認知症を知る月間 9月

わたしたちの行動で地域の輪を創ろう!

56件 令和元(2019)年度
日野市内で発生した
認知症による徘徊(行方不明)件数

認知症は誰にでも起こり得るものです。そしていつ起こるか分からないものです。
「地域で見守る」とはよく言いますが、
具体的に何をすればいいのかわからない人もいます。
認知症の人や家族にとって一番助けになるのは、周囲の人の理解と、ちょっとした手助け。
大人もできる、子どもでもできる。「困ったときは、お互い様」な日野のまちを、
みんなで作っていきましょう!

**あなたの勇気と行動で、
救われる人が
きつという**

認知症データブック

認知症患者数	認知症施設数	SOSネットワーク登録者数	認知症高齢者の割合
4,660人	492箇所	1,770人	19%

市内認知症施策の推進に貢献する
(平成31年3月時点)
市内認知症施策の推進に貢献する
(令和2年3月時点)
SOSネットワーク登録者数
(日野市人口の0.3%)
2025年の65歳以上の
高齢者に対する
認知症有症者の割合予測

2025年には、65歳以上の約5人に1人が認知症になると言われています。
他人事ではない時代が、やってきます。

(リーフレット 中)

リーフレット中面

**日野の「地域力」で実現させる、SOSネットワーク
認知症による徘徊高齢者の「早期発見・早期保護」を目指そう!**

徘徊は、認知症の代表的な症状の一つです。過去には行方不明になり発見が遅れた結果、命に代わった事例もありました。
早い段階で本人を発見・保護することができれば、こうした悲しい出来事も減らすことができます。
個人で、会社で、できることがあります。
そして、それはいつか「自分や家族」が認知症になったときにも役に立つ自分のまちで暮らすためのヒントでもあるのです。

早期発見!

多くの市民、事業所が登録することによって、
「地域で見守る」社会が実現できます!

個人でできる! SOSネットワーク登録
行方不明者の情報がメールで市から届く

- 1 下記QRコードを読み込みます
- 2 情報を受信するメールアドレスの登録
- 3 日野市から登録完了メールを受信

※登録は
コナラから

地域住民による協力

会社でできる! 「見守り協力事業所」登録
地域の商店や事業所で高齢者を見守るしくみ

- 1 「見守り協力事業所」の登録
- 2 業務の中で心配な高齢者を発見
- 3 地域包括支援センターへの連絡・相談

※協力事業所への登録は地域包括支援センターまで!

今も進む、認知症徘徊時へのサポート体制

認知症の方の徘徊が発生した場合、初動が早ければ早いほど、本人の早期発見・保護につながります。
日野市では、認知症による徘徊行動のある方に、GPS(人工衛星を利用した測位システム)端末を貸与するサービスを実施しています。GPS端末の貸与サービスには「徘徊」による事故とそれに伴う高齢者の安全確保のために、最大3箇所の日常生活圏内に設置できるサービスも付帯されています。
また、徘徊の可能性があるとして事前に事前登録していただく方に、誰がかかると本人を特定するための「見守りシール」を貼っていただく取り組みも進めています。

【見守りシール】

自分のかかりつけの店を特定するための4桁の番号や名前を記録することができます。

（七生支所ギャラリー展示）



（７）認知症サポーター養成講座 開催実績

	実施日	対象者詳細	受講者数	包括名
1	6月29日	リハビリデイたいあん	8	すずらん
2	7月29日	一般市民	3	すずらん
3	7月29日	平山住宅自治会	3	かわきた
4	7月29日	民生委員（新規）	2	いきいきタウン
5	8月12日	介護老人保健施設カトリア（訪問リハビリ）	6	多摩川苑・せせらぎ
6	8月14日	介護老人保健施設カトリア（訪問リハビリ）	5	多摩川苑・せせらぎ
7	8月17日	介護老人保健施設カトリア（訪問リハビリ）	6	多摩川苑・せせらぎ
8	8月18日	日野台高校学生	3	すてっぷ
9	8月18日	日野台高校学生	2	せせらぎ

10	8月31日	一般市民	1	多摩川苑
11	9月1日	黒川かわせみサロンスタッフ・ボランティア	13	すてっぴ
12	9月2日	福祉カフェテリア介護支援センター（居宅）等	8	多摩川苑・せせらぎ
13	9月16日	なごみ日野（居宅）・小規模多機能さかえまち	4	多摩川苑・せせらぎ
14	9月17日	ニック（株）多摩営業所	4	すてっぴ
15	9月29日	民生委員・見守り推進員	12	かわきた
16	9月30日	多摩川苑（居宅）・小規模多機能さかえまち	5	多摩川苑・せせらぎ
17	9月30日	一般市民	6	すずらん
18	9月30日	一般市民 湯沢福祉センタースタッフ	7	もぐさ
19	10月13日	早稲田イーライフ日野百草	1	もぐさ
20	10月16日	一般市民（公募型）	5	あいりん・すてっぴ
21	10月16日	一般市民（公募型）	4	あいりん・すてっぴ
22	10月19日	日野高校 3年1組	34	あいりん
23	10月20日	日野高校 3年2組	39	あさかわ
24	10月21日	日野高校 3年3組	36	多摩川苑
25	10月22日	日野高校 3年4組	38	すずらん
26	10月23日	日野高校 3年7組	33	いきいきタウン
27	10月23日	康明会病院職員	15	かわきた
28	10月26日	日野高校 3年6組	39	あいりん
29	10月28日	日野高校 3年5組	36	もぐさ
30	10月28日	日野高校 3年8組	38	多摩川苑
31	10月28日	康明会病院職員	17	かわきた
32	10月30日	一般市民（公募型）	5	あいりん・すてっぴ
33	10月30日	一般市民（公募型）	2	あいりん・すてっぴ
34	11月5日	セブンイレブン東平山2丁目店	3	いきいきタウン
35	11月16日	東光寺小学校 4年1組	26	多摩川苑・せせらぎ
36	11月16日	東光寺小学校 4年2組	26	多摩川苑・せせらぎ
37	11月17日	仲田小学校 4年生	64	多摩川苑・せせ

				らぎ
38	12月7日	明星大学人文学部	57	あさかわ・すすらん
39	2月12日	一般市民	2	かわきた
40	3月20日	老健クローバー	2	いきいきタウン
		計	620	名

◆延べ受講者数（平成18年度～）：19,413人

(8) 認知症サポーターステップアップ講座 開催実績

	実施日	対象者詳細	受講者数	包括名
1	9月2日	福祉カフェテリア介護支援センター（居宅）	8	多摩川苑・せせらぎ
2	9月16日	なごみ日野（居宅）、小規模多機能さかえまち	6	多摩川苑・せせらぎ
3	9月30日	多摩川苑（居宅）、小規模多機能さかえまち	5	多摩川苑・せせらぎ
4	10月7日	一般市民	5	すすらん
5	10月16日	一般市民（公募型）	4	あいりん・すてっぷ
6	10月16日	一般市民（公募型）	3	あいりん・すてっぷ
7	10月30日	一般市民（公募型）	5	あいりん・すてっぷ
8	10月30日	一般市民（公募型）	1	あいりん・すてっぷ
9	11月12日	一般市民(公募型)	13	もぐさ
10	2月12日	一般市民	4	かわきた
計			54	名

◆延べ受講者数（平成27年度～）：1,056人

(9) その他

認知症サポーターカードの作成

令和3年度より認知症サポーター養成講座受講の証として使用する「認知症サポーターカード」を、日野市及び認知症地域支援推進員とともに検討・作成。

(作成期間 2021年1月～3月)

3,000枚作成



令和 2 年度認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業
実施報告書

発行年月 令和 3 年 3 月

企 画 日野市健康福祉部高齢福祉課
〒191-8686 東京都日野市神明一丁目 12 番地の 1
電話 042-514-8496（直通）